

こうふ町 議会だより

町勢

世帯数/1,164世帯
人口/3,722人
(平成19年7月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



全国和牛能力共進会鳥取県最終予選会

(鳥取県中央家畜市場)

議員の新体制決まる	2 P
6月定例会	4 P
いっぱん質問 町政を問う	6 P
町の動き	8 P
私もひと言	10 P

今期後半 議会の新体制決まる

常任委員会委員構成

総務経済

- (1) 総務・財政・産業経済・土木及び環境整備に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を掌る。
- (2) 他の常任委員会の所管に属しない事項を掌る。



委員長
川上 富夫



副委員長
田中 幹啓
議会運営副委員長



議会運営委員
川端 雄勇



議会運営委員
長岡 邦一



越峠恵美子

教育民生

- (1) 教育社会及び福祉保健に関する事務の調査並びに議案、請願、陳情等の審査を掌る。



委員長
上原 二郎



副委員長
河上 貞也
議会運営委員



議会運営委員長
森田 智



日野尾 優



池田 成弘

主な議会選出議員

西部広域行政管理組合議会議員	池田 成弘
日野町江府町日南町衛生施設組合議会議員	河上 貞也 森田 智(総務常任委員長) 上原 二郎
日野病院組合議会議員	池田 成弘 川端 雄勇



副議長 越峠恵美子



議長 池田成弘

就任ごあいさつ

6月定例議会で、議員各位の御推挙を賜り議長の重責を担うことになりました。まことに身に余る光栄と、その責任の重大さを痛感しております。

私は議会経験も浅く、浅学非才ではありますが、議員の皆様を始め多くの方々に御支援と御協力をいただき、職責を全うする決意です。

議会においては情報の公開を積極的に行い、中立・公平で民主的な議会をめざし、執行機関と互に切磋琢磨しながら、住民の方々の幸せを大前提に本町発展のため努力する所存ですので、町民皆様の御理解と御協力をお願いいたしまして議長就任のごあいさつといたします。

議長 池田 成弘

この度、議会の委員会構成の改選により、はからずも、副議長という大役を拝命させていただく事になりました。

身にあまる光栄であり、その責任の重さを全身全霊で受けとめております。

私は議会人としての経験も浅く、もとより、その器ではありませんが、誠意をもって職務を全うする覚悟でございます。

「小さくても元気で明るい輝きのある町づくり」に向って限りなく前進あるのみ。

又、弱い立場の人々が安心して暮らすことが出来る町づくりを旨として微力ではありますが努力してまいります。

町民の皆様への御指導と御支援をお願い申し上げ就任のごあいさつとさせていただきます。

副議長 越峠恵美子

6月15日、定例会が招集され、一般質問議案審議等を終え、最終日に議長から辞表が提出された。それに基づき議長選挙を行ない、池田成弘議員(2期)を選任した。引き続き副議長選挙を行ない、越峠恵美子議員(3期)を選任した。

各常任委員会委員は、議長の指名により決定後、委員の互選により正副委員長を決定した。

議長に池田成弘議員を
副議長に越峠恵美子議員を選ぶ

6月定例会

一般会計

補正後

28億8,100万6千円に (28,994千円を減額)

特別会計 15会計

補正後

21億9,593万8千円に (1,784万4千円追加)

条例改正の 主なもの

平成19年6月定例議会は、6月15日に召集され会期を6月19日までの3日間と定めて開かれまし
た。

今回の定例会には、条例の一部改正が3件、平成19年度補正予算関係が8件、追加提出議案12件など上程されました。

これについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。

※江府町税条例の一部を改正する条例について
(平成19年3月30日専決
処分)

地方税法等の一部を改正する法律等が平成19年4月1日から施行されたことに準拠し、法人課税
信託、たばこ税の税率を1000本につき306
4円から3298円に改
正、住宅のバリアフリー
改修に伴う固定資産税の
現額措置の創設等所要の
改正をするもの。

※江府町国民健康保険税
条例の一部改正について
(平成19年3月30日専決
処分)

地方税法等の一部を改
正する法律等が平成19年
4月1日から施行された
ことに準拠し、国民健康
保険税の課税限度額を56
万円に引き上げること
について改正するもの。

※江府町国民健康保険税
条例の一部改正について

(平成19年5月31日専決
処分)
保険税医療分について
は

一人当たりを前年並み
とした場合における所得
割額の按分率並びに被保
険者均等割額、世帯別平
等割り額を引下げる。
保険税介護分について
は

所得割額の按分率を引
下げることに伴って改正
をするもの。

あなたも議会を 傍聴してみませんか

詳しくは
議会事務局へ
(直) 75-3307

その他主なもの

※江府町立江尾小学校耐震補強大規模改造工事
請負契約締結について
町内小学校の統合計画により江尾小学校の大規模改修が行われる為、業者の指名競争入札が行われました。

契約金額

1億3650万円

契約の相手方

米子市三本松
株式会社 先本組

※辺地に係る総合整備計画

画 2件

・江府町大河原及び吉原幹線道路を整備することにより広域的な交流と地域の活性化を図り、住民福祉の向上、地域格差の是正に寄与する目的
・江府町大字御机及び下蚊屋の全地域
沿線への工場進出による大型車の増加が見込まれるため緊急に対策が望まれる。

町監査委員に

日野尾 優 議員

生田 政美さん (久連)



議員のうちから田中幹啓議員に代わって監査委員に日野尾優議員の選任に同意しました。



平成19年7月7日で任期満了となります。江府町監査委員に生田政美さんの選任に同意しました。引き続きよろしくお願ひします。

あなたから出された 陳情の結果

採択しました

- ▼ 最低賃金の抜本改正と均等待遇の実現を求める陳情
鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁
- ▼ 森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書採択の要請
全国林野関連労働組合 鳥取森林管理署分会 執行委員長 酒本滋行
- ▼ 2008年度国家予算編成において教育予算拡充を求める陳情書
鳥取県教職員組合 西部支部 支部長 金本 仁

一般質問



限界集落の活性化対策と高規格道路（江府道路）の路線は

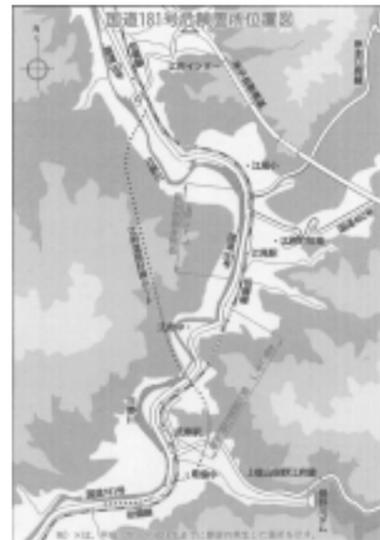
日野尾 優

問	集落再生活活性化対策は
答	県と連携し集落との話し合い等積極的に行なう

質問 全国的にも話題になっております限界集落問題です。人口・戸数が激減し高齢化の進行等の要因で、耕作放棄地の拡大、山林の放置林化、出役などの社会的共同生活の維持が困難な状況で集落崩壊の危機が懸念されます。また、既設の公共施設の活用等集落再生活活性化対策について町長に伺う。

町長答弁 「限界集落」とは65歳以上の人口比が50%以上で、高齢化が進み、生活道路の管理や冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落のことをいいます。江府町でも、平成17年の国勢調査で100世帯、人口3642人と発表されたが、前回の平成12年の国勢調査と比較して38世帯、279人減少しています。数字で見ると「限界集落」に該当するのは4集落あります。

また、55歳以上で人口比が50%以上で、現在は共同体としての機能を維持しているが、限界集落の予備軍となっている「準限界集落」といわれるのは24集落あります。町としても、地域活性化対策として特産品の開発、交流事業の推進等集落と協同しながらおこなっています。しかしながら、一部集落では交流事業の施設も生かされていない現状もあります。今後も県とも連携しながら



現在の高規格道路予定図

問	計画ルートは最善か
答	このルートで関係集落の意見を聞く

質問 高規格道路「江府道路」は当初左岸構想であったが、唐突として、建設費用の削減、防災上の問題、交通難所解消等で右岸側になり、関係集落等で説明がありました。この路線の安心・安全、利便性、効率性、環境性、地域開発性、費用対効果等々、県の提示した路線が最善と考えておられるのか町長に伺う。

町長答弁 計画ルートの選定をするにあたって、道路交通対策としての考え方は、特に交通停滞及び交通隘路の解消として国道181号と482号の交差点

江府中学校付近及び武庫踏切等の交通安全を確保することを基本にしております。国道181号の1日交通量の1万台の内の8割が通過車両であり、「江府道路」を作ることによって、交通安全も確保されます。ルート検討に当たって、現道の拡幅案、またその他検討した上で、日野川左岸ルート案を進めておりましたが、現地の地質なり形状調査等の結果、長大法面が発生し、危険渓流が存在するなどの完成後の安全性と維持管理に問題があり左岸ルート案を見直す必要が生じた。また、江府三次道路事業は、当初は自動車専用道路でスタートしたが、国の財政状況やコスト削減等々で、自動車専用道路から現道のバイパスで整備する手法に変わってきた経過もあります。現状の中ではこのルートで地元のご理解がどうか、関係集落の説明会で、ご意見を伺ってまいりたいと存じます。



町政あと一年の抱負 アイデア町政について

田中 幹啓

問	抱負と計画は
答	行財政改革を

質問 3年前に竹内町長が就任されました。あやめの建設、あるいは情報センターの建設・サントリも来ました。明るいニューも有りました。高規格道路の動向、小学校の廃校・統合の問題、未完成地域の下水道もまだ残っています。非常に状況として厳しい気がします。

知恵を出して総合的にふるさとを築いていくことがポイントだと思います。若干町民から不満の声も聞きますが、町長の残り1年間で、抱負を含めて道筋、どの様な方向付けをしたいか伺う。

小学校統合に向けて、改築にこぎ着けました。残された後1年の任期中に公共料金の改正と更なる行財政改革の推進を図り、本町の財政悪化のピークとなります平成21年から24年までの間、乗り切るための準備に邁進する覚悟です。継続事業の推進、サントリ工場誘致事業完了に向けての取り組み、新プロジェクトによるバ

問	アイデア町政は
答	知恵をしばってまちづくりを

質問 財政が厳しいから何も出来ない、そんな空気が自治体に流れている。今必要な事はお金を使わないで町民のために何が出来るかという事を考える時期だと思えます。江府町は自然を守り、水を守ってきた。その中で企業進出もあった。これからは環境を大切にす町、もつたいない運動を展開する町、水、塩、洗剤にか

厳しい財政状況の中、町民の視線に立ち、県の制度を有効に活用しながら、知恵を絞り予算の伴わない住民サービス心がけています。貴重な財産を後世に引き継ぐため、今年から初めて試みとして「江府町再発見事業」を実施して参ります。町費を使わないコミュニケーション事業を活用して、19年度6件1270万円を集会所施設の充実を図っています。気づいたこと、解らないこと積極的に担当職員に連絡いただき、「江府町が小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」を目指しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

人事についても意見の不一致の部分もあったわけですが、私も議員として5期目の中間になります。町長の責任だけを追及して良くなる状況では有りません。今は、協調の輪の中で

町長就任以来3年が経ち、「小さくても元気で明るい、輝きのあるまちづくり」で取り組んで来ました。おりしも国の施策として「三位一体改革」が示され小規模自治体の財政が悪化するなか、行財政改革3本柱を掲げ、職員自らの改革と経費節減と取り組み、補助金負担金を見直し、最後に公共料金の見直しの検討を行うところですが、企業誘致、老健施設「あやめ」の建設、医療福祉の充実

観光振興、情報施策を図り、生活の安定、地域経済の活性化に努めます。引き続きご支援をお願いします。



改修される江尾小学校

町の動き

「エバーランド奥大山の運営は」



エバーランド奥大山

江府町地域振興株は、平成11年甘酒茶屋からエバーランド奥大山となったレストランと地ビール工場、スキー場、奥大山水工場の4事業を行ってきました。

これまでの8年の経営は、冬のスキー客に大きく依存し安定した経営となっていない状況でした。

現在の置かれた環境を考えると、これまでの経営を続ける事はできないと判断し、江府町地域振興株は奥大山の水工場の経営のみとし、エバーランド奥大山と地ビール工場、スキー場はあらたに指定管理者（施設を借り営業する者）を募集する事となりました。

6月には、町内に呼びかけ募集しましたが応募者が無く、現在全国に広く募集を行っています。8月には指定管理者を決め9月より営業を再開する予定です。

従業員については、5月で一旦解雇となりましたが、あたらしい指定管理者に再雇用するよう求めています。

残った赤字については江府町地域振興株が今後返済の責任を負い長期的に返していくこととなります。

この施設が今後観光の発展に役立つよう議会として見つけて行きます。

「サントリー水工場の状況は」



建設中のサントリー奥大山ブナの森工場

平成20年3月の操業開始を目指して工事が行なわれている「奥大山ブナの森工場」は、造成工事を終え工場本体と倉庫の建設が現在急ピッチで行われており秋には完成する予定です。

江府町の貴重な自然を守るために「笠原水環境影響評価委員会」で調査検討を行い、ほとんど影響は無いとの最終報告

を受けました。

また、積極的に環境を守り育てるために、サントリーとの間に5月には「環境保全協定」を、6月には「とつとり共生の森育成支援事業」が結ばれました。

議会として、今後とも環境変化に注意を払うとともに雇用の拡大と地域経済の発展に繋がるよう努力して行きます。

森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書

昨今、温室効果ガスの増加による地球温暖化現象が人類の生存基盤を揺るがす重要な環境問題とされる中で、平成17年2月には「京都議定書」が発効し、これを受け、同年4月に政府は「京都議定書目標達成計画」を策定したが、その中で森林は温室効果ガスの吸収源としての大きな役割が課されている。

また、17年7月のグレンイーグルズ・サミットにおいて、違法伐採に取り組むことが地球環境の保全や森林の持続可能な経営に向けた第一歩であることが合意され、昨年7月サンクトペテルブルグ・サミットでもその重要性が再確認されたところである。我が国においても、政府及び業界が一体となって違法伐採対策への取組に着手したところであり、早急な定着が求められている。

一方、近年大規模な自然災害が多発しており、山地災害を未然に防止するため治山対策や森林の整備・保全の一体的な推進が強く求められている。

このような中で、平成17年度にあっては、用材自給率も7年ぶりに2割を超える見込みとなり、平成15年度以降林業への新規就業者が増加するなど、わずかながらではあるが明るい兆しも見受けられる。しかしながら、今なお厳しい状況が続いている林業・木材産業の再生につなげていくには、森林吸収源対策としての森林整備を図るための追加的事業費の継続や新たな森林・林業基本計画に導入された工程管理の検証など、今後これらの兆しを助長・発展させるための強力な施策の展開が必要である。

特に、追加的事業の緊急的な対応の中で、地方自治体や個人に係る費用負担が障害となるなど現下の森林・林業・木材産業の厳しい実態を踏まえ、林業・木材産業の再生に向けた強力な施策の展開がなされるよう要請し、具体的には下記の事項についてその実現を強くお願いする。

記

1. 多様で健全な森林の整備・保全等を促進する新たな森林・林業基本計画の推進とこれを実現するための平成20年度予算の確保
2. 地球温暖化防止森林吸収源対策を推進するための追加的事業費の安定的な財源の確保と、事業執行に伴う地方財政追加措置及び森林所有者負担の軽減
3. 森林・林業の担い手の育成・確保及び国産材の安定供給体制の整備と利用拡大を軸とする林業・木材産業の再生に向けた諸施策の展開
4. 国民の安全・安心な暮らしを守る国土保全対策の推進
5. 特に、国有林野にあっては、安全・安心な国土基盤の形成と地域振興に資する管理体制の確保
6. 地球的規模での環境保全や持続可能な森林経営を目指した違法伐採対策の推進
7. 森林整備地域活動支援交付金制度の継続・充実

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年6月19日

鳥取県日野郡江府町議会

議員提出議案

最終日の19日議員発議により3件の意見書が提出され原案通り可決し、関係行政庁に意見書を提出しました。

最低賃金の大幅引き上げと均等待遇の実現を求める意見書

働いても生活保護水準の収入さえ得られないワーキングプア（働く貧困層）が社会問題となる中、主要国で最低水準となっている最低賃金の引き上げを求める声が強まっている。

最低賃金制度は、労働者の生活の安定と地域経済の活性化、企業の公正競争ルールの確立をはかる上で重要な役割を担っている。都道府県ごとに定められる地域別最低賃金は、毎年、中央最低賃金審議会が作成する「目安額」を参考に、地方最低賃金審議会の審議を経て改定されている。

しかしながら、その改定は毎年数円と小幅にとどまり、わが県の最低賃金額は時間額614円と著しく低い。そのため、地域のパート、アルバイト、臨時、派遣、請負などの「非正規」雇用労働者の賃金は低く抑えられ、1ヶ月10万円ほどの生活を余儀なくされている人が少なくない。こうした貧困の広がりには、未婚者の増加や少子化の加速など、この国の社会基盤をあやうくさせる重大な原因をつくっている。

政府においては、法定最低賃金制度を抜本的に改正し、ワーキングプアの温床となっている現在の低額最低賃金を大幅に引き上げ、低賃金労働者の生活改善をはかることが喫緊の問題となっている。

同時に、世界各国の動向をみれば、最低賃金制度は全国一律とすることが主流であり、それによって公正取引ルールの確立し、地域間格差を是正している。世界の実践をふまえた制度改正が、日本にも求められている。

については、下記の内容を早期に実行するよう、意見書を提出する。

記

1. 最低賃金法を改正し、だれもが健康で文化的に暮らし働ける水準を全国一律で定めること。金額の設定については、時間額1,000円以上とすること。
2. パート労働法を改正して、雇用形態差別を禁止し、賃金・労働条件等の「均等待遇」を明記すること。
3. 有期雇用は、一時的・臨時的業務に限定し、通常業務の労働者は期間の定めのない雇用とするよう、法整備をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年6月19日

鳥取県日野郡江府町議会

2008年度国家予算編成において教育予算拡充を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとってきわめて重要なことである。現在、本県をはじめ多くの都道府県で、児童生徒の実態に応じ、きめ細かな対応ができるようにするために、少人数教育が実施されており、保護者や子どもたちから大変有益であるとされている。

しかし、義務教育費国庫負担金の負担割合が2分の1から3分の1に縮小されたことや地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、自治体独自に少人数教育を推進することには限界がある。このため、学校施設などを含めて教育条件の地域間格差も拡がりつつある。

一方、就学援助受給者の増大に現れているように、低所得者層の拡大・固定化がすすんでいる。自治体の財政力や保護者の家計の違いによって、セーフティーネットとして子どもたちが受ける「教育水準」に格差があってはならない。日本の教育予算は、GDP比に占める教育費の割合や教職員数などに見られるように、OECD諸国に比べて脆弱と言わざるを得ない。教育は未来への先行投資であり、子どもたちがどこに生まれ育ったとしても、ひとしく良質な教育を保障しなければならない。そのためには、教育予算を国全体として、しっかりと確保・拡充させる必要がある。

よって政府に対し、地方自治法第99条の規定により下記の通り意見書を提出する。

記

1. きめの細かい教育の実現のために、義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画を実施すること。
2. 義務教育費国庫負担制度について、国の負担率を2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること。
3. 学校施設整備費、就学援助・奨学金など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。
4. 教職員の人材を確保するため、教職員給与の財源を確保・充実すること。

平成19年6月19日

鳥取県日野郡江府町議会

ひとこと



新道 梅林 佑基

就職活動で 見たこと

私は、小学3年生の頃から現在に至るまでの15年間、ソフトテニスをしています。中学校卒業を期に、ソフトテニスをするためのより良い環境を求め、香川県の高校、東京の大学へ進学しました。そして、大学を卒業し、今年の4月からJA鳥取西部に就職いたしました。

私は、鳥取県内で就職活動をする前に、東京でも就職活動をしていました。この就職活動を通じて、私は、都市と地方では、求人募集をしている企業の数、求人の数に大きな

格差があることに気づきました。この現状では、江府町から進学などで出ていった人達が、雇用を見つけて帰ってくるのが、難しくなっています。2008年春の稼働を目標し、江府町御机笠良原に設置中のサントリーのミネラルウォーター工場は、当初約30人の従業員を地元から採用するとして、雇用が確保され期待を寄せていました。

しかし、実際に採用された地元の人は数人だけだと聞きました。私は、このサントリーの水工場が設置されることで、町外又は県外に出ていったしまった人達が帰ってこれる職場になると思っていたので、とても残念でした。

私は、江府町の豊かな自然・人達のふれあいから生まれる雰囲気がとても好きです。町外又は県外に出ていった人達の中にも、同じような気持ちを持つている人は、たくさんいると思います。しかし、いざ帰るとなった時に仕事を求める職場がないと、帰ることを諦めなくてはならなくなってしまう。

江府町としては、職場という土台をしっかりと確保し、常にその状態を維持することが大切だと思います。そうすることで、Uターン就職ができ、江府町にさらに活気が出てくると思います。

私は、夫の実家である江府町に住み、今年の夏で四年になります。

核家族、マンモス校、地域の交流の少ない所・・・育った私は、祖父母との同居も地域の行事も初めてでしたが、皆様にあたたかく迎えていただき、支えられ、小学校4年生、2年生、保育園年少の3姉妹を、美しい自然の中でのびのび子育てしています。

子育てにおいて、最初は子供の少なさに驚きましたが、学校中のお友達の保護者の方とまで、みんな顔見知りの関

江府町での生活



本三 河上恵里子

係、隣近所のコミュニケーションのよさなどは、子供たちにとってもよいものだと思います。登下校の時などにも「河上さんの家の子供だ」とすぐ気づいてもらい声をかけてもらうことは、子供の教育や、今の犯罪の多い世の中にはとても大切な事だと思います。

しかし、町内では進学も就職も難しく、このよい環境で育っている子供たちが社会に出た時戸惑わないよう、江府町の子供たちに、いろいろな経験をさせる機会、いろいろな人と接する機会をたくさん作っていただけたらいいと思います。

今までは生活に慣れる事に一生懸命でしたが、今年度、保育園の人権同和推進部長をつとめさせていただき、江府町の歴史や抱える問題、町の出来事など、興味を持っていろいろな行事に参加しています。子供がこの町で育つてよかったです。自分がこれから暮らしていく町に関心を持ち、意見が積極的にいえるぐらいになれるよう、皆様の力をかりて勉強していきたいと思えます。

あとかぎ

▼温暖化がもたらす異変が、水不足から一転、降り続く雨に日照不足が懸念されるとか。

梅雨。紫陽花がひときわ美しい。

▼議会の委員会構成が改選になり、議会広報調査特別委員も変わりました。分かりやすい議会であることが、町民の皆様の信頼につながる。そのためには、町民と議会が情報を共有出来る様に、議会だよりの編集に努力致しますので、ご意見などお寄せいただきまます様お願い致します。(越峠)



議会広報調査特別委員会

- 委員長 越峠恵美子
- 副委員長 川上 富夫
- 委員 上原 二郎
- 委員 日野尾 優
- 委員 池田 成弘